

page 3

東日本大震災 主な被害状況

page 4~5

写真でみる大震災の傷跡

page 6~7

写真で見るJAの支援

page 8~9

被災県のJA中央会会長あいさつ

岩手・宮城・福島
茨城・栃木・千葉

page 10~12

JAグループの支援活動

page 13

JA中央本部の活動

page 14~17

復旧・復興への取り組み

岩手・宮城・福島
茨城・栃木・千葉

page 18~19

東電原発事故への対応

page 20~21

被災地JAの証言

page 22~23

被災地農業者の証言

「協同」を糧に

復興成し遂げよう

3月11日の東日本大震災から5カ月がたとうとしています。世界でも類を見ない大災害となつた今回の震災は、多くの尊



JA全中会長 茂木 守

い命を奪い、同時に先代から築き上げてきた人々の生活を奪い去りました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまにあらためてお見舞い申し上げます。今回の震災で特に被害の大きかった地域の基幹産業は、農業、漁業であります。津波により沿岸部の農地は浸水し、用排水施設をはじめとする農業関連施設の多くは損壊しました。原発事故による被害は、震災から5カ月がたとうとしている今もなお、終息のめど

がたない状況にあります。さらに、こうした被害は、沿岸部のJAの経営にも大きな影響を与えています。JAグループは一刻も早い復興に向け、全力を挙げて取り組みます。100億円を超える義援金、組合員・役員による個人募金のほか、JAグループ支援隊、被災地JAの経営対策、原発事故被害対策などに継続して力を尽くします。

一方、被災地での復興のためには、政府、自治体が果たすべき役割は極めて大きいと考えております。生産基盤を失った農家組合員の皆さんが営農意欲を持てるような持続可能な農業づくりを目指すとともに、生活基盤を失った皆さんが安心して暮らせる地域の実現に向け、真に地域が求める声を復興ビジョンに反映

していく必要があります。震災がもたらした被害は甚大であり、筆舌に尽くしがたいものがあります。そうした困難の中でも、被災地の農家組合員、地域の方々、JAの役員は互いに助け合い、復興に向けた力強い一歩を踏み出しておられ、その姿に深い感銘を覚えております。さらに、被災地の皆さんを支えるべく、全国のJAグループ各組織より頂いた心温まる数々の支援につきましても、心より感謝申し上げます。

震災後、日本全国さらには世界各地から寄せられた支援の広さ、深さからは「相互扶助」「絆」といった価値観の高まりを感じ取ることができます。復興への道のりは長く厳しいものになると思いますが、多くの人々が励まし合い、助け合うことで必ずや復興が成し遂げられるものと確信しております。